

令和3年第14回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和3年12月16日（木曜日）		開会	13:24	会議場所		別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	14:54					
委員の出欠		3 番	田村 秀男	出席	4 番	小椋 哲也	出席	8 番	松壽 孝雄	出席
		12 番	松原 政勝	出席	13 番	中村 忠士	出席			
出席説明員	産業 振興部	産業振興部長		産業振興部次長兼水産みどり課長		農政課長		商工観光課長		
		門脇 芳則	出席	佐々木栄典	出席	小野 武史	出席	田畑 直樹	出席	
		農政課主幹		商工観光課主幹		水産みどり主幹		商工観光課主査		
		上田 健一	出席	岩口 裕昭	出席	大坂 恒夫	出席	武田 妙子	出席	
		農政課主査		農政課主査		水産みどり課主査				
		武田 文吉	出席	寺澤 淳司	出席	古里 達也	出席			
	建設 水道部	建設水道部長		管理課長		事業課長		建築住宅課長		
		伊藤 一成	出席	松田 勝広	出席	外石 昭博	出席	川畑 智明	欠席	
		上下水道課長		上下水道課技術長		管理課主幹		建築住宅課技術主幹		
		谷村 将志	出席	袴田 充輝	欠席	前道 陽司	出席	山岸 英一	欠席	
		事業課主幹		事業課主幹		上下水道課主幹		管理課主査		
		廣島 静治	欠席	佐竹 和仁	欠席	福原 仁史	出席	木村 洋平	出席	
		建築住宅課主査		建築住宅課主査		事業課主査		上下水道課主査		
	篠田 敬介	欠席	大西 廣和	欠席	板垣 正博	欠席	植松 拓也	欠席		
	農業 委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主査				
内山 宏		欠席	・木 直人	欠席	山下 真弘	欠席				
委員外の出席		議長	西原 浩				合計	1名		
事務局職員		局長	小島 実	主幹	入田 浩明		合計	2名		
傍聴者数		議員	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

令和3年第14回産業建設常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 8番 松壽	13:24 開会 出席委員5名、委員外1名、会期1日
委員長 8番 松壽	挨拶
建設水道部長 伊藤	【建設水道部提出議案審査】 挨拶及び概要説明
委員長 8番 松壽	(1)議案第72号別海町下水道等事業の設置等に関する条例の制定について ・本会議で内容説明しているの、質問があればお受けする。
委員長 8番 松壽	議事1 提出議案審査について
委員 3番 田村	質疑 ・人口が減少していくが、排水区の計画人口算定の根拠を示してほしい。 集落排水施設設置条例と関連があるが、設置条例の改正の中で、設置を削除し表題も改正しているが、それも一部改正になるのか。 別海町下水道条例中、設置という文言を削る必要がなかったのかどうか。
委員長 8番 松壽	暫時休憩 13:29
委員長 8番 松壽	再開 13:33
上下水道課長 谷村	・設置を削除した部分については、今回下水道の法適化に伴い、企業会計へ向けて整理統合したため、集落排水施設設置条例の設置を削除している。 別海町下水道条例中、別海町下水道条例の中身がどのようなものかという部分については、これまでは特定環境保全の公共下水道のみだったが、今回の企業会計の移行に伴い整理統合した。
委員 3番 田村	・私が聞いたのは、別海町集落排水施設設置条例の一部改正と言って、設置のところだけ除いている。設置条例の一部改正と言いながら、その条例の名前まで変えているがそれも一部改正になるのかということを知りたかった。 それと、下水道条例というのは、設置条例は他にあるが、その中に設置という言葉が入っているんだけど、その文言は集落排水のように整理しなくてもいいのかということが知りたかった。 それと、今までの条例の中に計画人口というのが決まっていて、それをそのまま新規条例に持ってきたんだけど、そもそもこの計画人口を算定する上で、以前議会にかけなきゃならないということで、その計画人口は第7次の計画から持ってこなきゃならないということで説明を受けて、条例改正した。 けれども、第7次の計画は、今回、総合ビジョン見直した。 その数字と合致するのかっていうのが私の聞きたいところ。
委員長 8番 松壽	暫時休憩 13:37
委員長 8番 松壽	再開 13:39
上下水道課長 谷村	・集落排水の一部改正の部分については、今回企業会計への移行に伴い、設置という条例と管理という条例を待つことで整理をしている。 その中で、今までの集落排水施設設置条例については、ここに設置というものがあって、それを企業会計移行に伴って今回議案で提案させてもらってる新規条例に移した。 今までの下水道事業の設置条例、こちら企業会計にあわせて設置だけ残して残っておりまして、それが今回御提案している議案第72号である。 今回御提案してない別海町下水道条例については、こちらはもともと管理に関する条例だったものですから、今回御質問のあった一部改正には該当しなかったため改正していない。
委員 3番 田村	・それはわかっている。

令和3年第14回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>ですから、集落排水施設設置条例っていう中には、設置のことも入っていたので、条文を除いて、新規の条例に入れたと。</p> <p>それから下水道事業の条例は、下水道の設置条例と下水道事業と二本立てになって、下水道の設置条例だけを削ったと。</p> <p>ということは、下水道事業の条例の中には、設置のことについては一切触れてないということなんですね。</p>
上下水道課長 谷村	・はい。
委員 3番 田村	・それはわかりました。
委員長 8番 松壽	暫時休憩 13:41
委員長 8番 松壽	再開 13:42
建設水道部長 伊藤	<p>・計画人口の関係については、まず、今現在の数字に関しては、第7次総合計画の人口推計から算出されている。</p> <p>結果として、当初の7次総合計画の話なので、その後、7次総合計画の人口推計は変更されたと思うが、その数字と整合性がとれてない状況になっているのは、下水道事業の計画については、10年に1回の計画変更ということがあるので、10年に1回ずつの計画変更時点の人口推計を採用するようにしている。</p>
委員 3番 田村	<p>・そうすると、7次計画の人口を、今後、10年間は状況が変化しても条例上は変えられないのか変えないのか。</p> <p>道の指導で大分その乖離があっても、その乖離した人口で事業を進めていくという理解か。</p>
建設水道部長 伊藤	<p>・下水道処理区域内の人口に大きく変更が出てきた場合については、変更することになっている。</p> <p>人口を変更する基準については、処理施設の容量に影響を及ぼす程度ということを目安にして計画の変更するしないということを決めるという流れになっている。</p>
委員 3番 田村	<p>・処理能力が決まっているんだから、計画人口に対してでこのぐらいの処理能力でいかなということまで計画しているよね。</p> <p>第7次を2年目で直したのは、それはすごい乖離があるから。</p> <p>そういうことであれば、やはり少なからず考えてもいいのではないかなと私は思うんで、ちょっと質問だけ。</p>
委員長 8番 松壽	・他に質疑あるか。
委員 一同	・質疑なし。
委員長 8番 松壽	討論
	<p>・これから討論に入る。</p> <p>討論あるか。</p>
委員 一同	・討論なし。
委員長 8番 松壽	採決
	<p>・これから採決する。</p> <p>原案のとおり可決することに異議あるか。</p>
委員 一同	・異議なし。
委員長 8番 松壽	・原案のとおり可決することに決定。
	【建設水道部所管事務調査】
委員長 8番 松壽	議事2 所管事務調査について
	(5) 地籍調査について
管理課長 松田	・資料により説明
委員長 8番 松壽	質疑
委員 一同	・質疑なし。

令和3年第14回産業建設常任委員会 要点記録

委員長	8番	松壽	(6)除雪について
建設水道部長		伊藤	・降雪がないため、出勤実績なし。
委員長	8番	松壽	質疑
委員		一同	・質疑なし。
委員長	8番	松壽	建設水道部 13:58 終了 休憩
委員長	8番	松壽	14:06再開 委員長挨拶
産業振興部長		門脇	【産業振興部所管事務調査】 挨拶及び概要説明
			<p>・新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策についての報告する前に、昨日の木嶋議員の一般質問に対する町長の答弁の中で、11月26日に行われた第13回産業建設常任委員会所管事務調査時に所管が答弁した内容と一部齟齬があったのではないかとこの件について、御説明させていただきたい。</p> <p>昨日の町長の答弁では、プレミアム付き商品券事業の目的について、第一義的には経済対策として行っているが、低所得者及び子育て世代を含む福祉目的もあると一つの事業で複数の効果を狙っているという答弁がされている。</p> <p>先月の第13回の委員会においては、福祉的な目的のことを言葉として申し上げていないというような中で、所管としましては第1条件が中小企業支援であって、第一義的には福祉目的でない旨の発言でしたが、ちょっと言葉不足が否めないのかなというところで、誤解を招く発言だったということで、お詫びして訂正させていただきたい。</p>
委員長	8番	松壽	議事1 所管事務調査について
商工観光課主査		武田	(1)新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策について
商工観光課主幹		岩口	・中小企業等経営持続化補助金については、前回報告から進捗なし。
委員長	8番	松壽	プレミアム付き商品券の換金状況について資料により説明。
委員	4番	小椋	・べつかい宿泊割について資料により説明。
商工観光課主査		武田	質疑
商工観光課長		田畑	・プレミアム付き商品券の換金率について、今回は最終的にほぼ100までいったのか。今回は、どうなのか見込みを。
委員長	8番	松壽	・R2は99.58%、今年度は100%を目標に商工会と取り組む。
委員		一同	・宿泊割については、事業自体が緊急事態宣言の影響で1か月遅れて開始している。
産業振興部長		門脇	・他に質疑あるか。
			・質疑なし。
			(2)水産系副産物再資源化施設の運営について
			・12月補正で焼却費を計上させていただいた。
			今回は特に報告することはない。
			(3)別海町農業・農村振興計画について
			・現在策定中で、1月に素案が完成し、2月にパブリックコメントを実施する予定である。
			パブリックコメントを実施する前に説明させていただく。
			(4)別海町酪農・肉用牛生産近代化計画について
			・現在策定中で、現在知事協議を行っている。
			知事協議を経て、3月末には公表できると考えている。
委員長	8番	松壽	質疑
委員	12番	松原	・12月からホタテが始まって、紋別に運ぶ予定だが、現状は把握しているのか。
産業振興部次長		佐々木	・運んでいるというのは聞いている。

令和3年第14回産業建設常任委員会 要点記録

委員	12番	松原	<ul style="list-style-type: none"> ・運ぶ頻度など、詳細はわからないのか。 ・どのくらいの頻度になるなどの詳細については掴めていない。 ・他に質疑あるか。 ・質疑なし。 ・(1)から(4)については、閉会中の継続調査とする。 ・異議なし。 <p>その他 (1)産業の動向について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により説明 ・令和2年12月1日現在の離脱の状況と新規就農の状況を教えて欲しい。 ・手元に資料がないので、はっきりとした数字は言えない。 <p>その他 (2)国営環境保全型かんがい排水事業肥培施設に係る調査報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により説明 ・3年1サイクルの考え方と言うと、平成30年度から調査を始めて4年目ということだが、令和2年度で1度1周りし、令和3年度から2巡目という認識でいいか。 調査報告では平均値しか出てこないが、問題がある使い方があったかどうか。 スラリーの温度が課題となっているが、何が悪くて温度が低いのかと改善策については、太陽光発電について費用が心配。 かかっている費用については調査しているのか。 ・調査サイクルについては議員おっしゃるとおり。 今回の調査は件数が多いので、平均ということで説明したが、数値が悪い農家については、調査時に指導している。 スラリーの温度については、調査時期にも問題があるが、曝気時間が3時間では足りないというような検証結果が出てきている。 太陽光の費用については、かかった電気代を申請後に交付金を支払っている。 曝気時間の延長に伴う部分は、個人負担になる。 ・個人負担はやむを得ない部分なんだろうと思うし、経営状況を圧迫するほどのものではないと思うが、それがこれから交付金がなくなること、経営を圧迫する要素が出てくるかどうかについては、きちっと見ていただきながら必要な手だてをとっていかねばならない事業であるのかなと思うが、そこら辺の考え方は。 ・費用等については、この国営事業が始まった当初からそういった費用については利用者の方がしっかり負担をするという中で始まっている事業というものが一つある。 そういった中で、太陽光の事業ができ、交付金という形で費用の一部を賄うことができている。 今後、確かに電気代であるとかそういった費用以外にも修理代等の費用ともかかってくるので、そういった費用状況も今回調査にあわせていろいろしている、今後、そういったものに対する何か負担軽減的な国等の補助事業、こういったものが出てきた際には、しっかりと情報収集しながら生かしていきたいと考えている。 ・散布の時期は春のいつ頃から何日間か。 ・そこまでの調査はしていない。 融雪後の春、1番草後の初夏、2番草後の晩秋のどこで行っているかという調査。 ・補足する。 恐らくは、例えば春時期の融雪期の状況、そういった時期にいけるかどうかというところも含めての御質問だというふうに理解した中でお答えさせていただくと、基本的にそういった融雪時期であるとか河川に流入する恐れがある時期については、散布はしないでいただきたいということで周知徹底は図っている。 ・調査結果で、平均18度ということだったが、当然平均なので順調に30度までいっている
産業振興部次長		佐々木	
委員長	8番	松壽	
委員		一同	
委員長	8番	松壽	
委員		一同	
委員長	8番	松壽	
産業振興部長		門脇	
委員	13番	中村	
農政課長		小野	
委員長	8番	松壽	
農政課主幹		上田	
委員	13番	中村	
委員	13番	中村	
委員	13番	中村	
農政課長		小野	
委員	12番	松原	
農政課主幹		上田	
農政課長		小野	
委員	4番	小椋	

令和3年第14回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>ところがあったのかどうか。</p> <p>いっていた場合、曝気時間との相関関係がきちんととれていたのかどうか。</p> <p>調査期間は冬の始まりぐらいだが、当然厳冬期基本マイナス十何度って時も、曝気されれば30度まで行くようなものなのか、それとも冬期間は20度とかそれぐらいでも仕方ないねっていうものなのか、そこら辺も含めて技術的な裏づけがあるのかどうか。</p>
農政課主幹 上田	<p>・当調査の結果、温度が30度に達している農家が1戸ある。</p>
	<p>その曝気時間は2.5時間ということだが、根室農業事務所と相談している中では、スラリーの成分によって一律に曝気時間が長ければいいというわけでもない。</p> <p>農家によっては、2.5時間で30度に達するところもあるという形になっている。</p> <p>概ね、長くとればとるほど温度が上がるというような検証結果が出ているということで、上がっていない方には、曝気時間の延長を推奨している。</p> <p>あと、冬期間に上がるのかって話については、これも開発との検証の話では上がるというような回答を得ているが、実際測っていくと寒いので、上がらないんじゃないかなと思いがら測っているところ。</p>
委員 4番 小椋	<p>・検証というか、研究実験としては当然曝気やったら温度伸びるというのはそうだと思うが、</p>
	<p>今回せっかく340件、40戸を3年間、4年間で統計とっているの、統計上それが優位なのかどうかというのをきちんとやらないと、現場レベルでは実は曝気時間延ばしても温度は上がっていませんとなるんだしたら、曝気時間延ばしましよってやっても、温度伸びないっていう可能性も十二分にあって、先ほどから成分によって発酵で変わってくるので、場合によっては推進剤を入れるとか、何かこう対策立てなきゃいけない可能性もあるので、せっかく調査結果がかなりの件数とれているので、そこら辺の統計分析だけでもして、開発と協議した方がいいのかなと思う。</p>
農政課長 小野	<p>・統計の検証については、確かにせっかく調査しているので、そういったものを分析しながら、</p>
	<p>恐らく、個別の農家によって要領の違いがあるかと思うので、そういったことを検証した上で、適温30度に近づくための普及・周知はしていきたいと考えている。</p>
委員長 8番 松壽	<p>・他に何かあるか。</p>
農政課長 小野	<p>・12月6日の町長からの行政報告でも若干触れたが、長引く新型コロナウイルス禍で牛乳乳製品の需要低迷が続くなか、年末年始にも生乳が大量に廃棄される懸念が強まっていることと、次年度以降の生乳増産抑制に向けた動向について説明させていただく。</p>
	<p>まず、コロナの影響による乳製品の在庫が（特に脱脂粉乳、バター）過剰となったことから、北海道では次年度以降、生乳の増産を今年度目標数量の101%にすることでおおむね決定した。101%のうち1%分については、新規就農者及び規模拡大農家に振り分けられることから実質、今年度の生産量を上回ることはできないものと解釈できる。</p> <p>また、今年度の生乳についても、生産量が需要量を大幅に上回る見込みであることから、業界団体Jミルクの試算によると需給調整のため最大で約5,000トンの生乳が廃棄される恐れがあるとのこと。</p> <p>生乳廃棄については、現在、生産者団体や乳業メーカーが連携し、過剰在庫となっている脱脂粉乳の一部を飼料用に仕向けるなど、業界や国をあげて対策を講じていくこととなる。また、町としても牛乳乳製品の消費拡大に向けた取組を広報紙及びSNSなどで発信していきたいと考えている。</p> <p>今後の情勢によっては、本町の酪農家にも多大な影響が出ることが想定できるので、すでに町内の農協とは現状について情報共有を図っているところであり、情勢が非常に心配されるところではあるが、農協などの関係機関とは常に情報共有をはかりつつ、状況を注視しながら必要な対策を講じていきたいと考えている。</p> <p>また、状況の変化などがありましたら、本委員会などで状況について説明させていただく。</p>
委員長 8番 松壽	<p>閉会挨拶</p>

令和3年第14回産業建設常任委員会 要点記録

委員長 8番 松壽 | 14:54 閉会